

八栄小学校の通学区域の見直しに関する第3回地域説明会 議事録

- 1 日 時 : 令和4年5月14日(土) 10時00分～11時20分
- 2 場 所 : 夏見公民館 第一・第二集会室
- 3 参加者 : 19名(児童・未就学児除く)

※ 質問者の個人の特定につながる箇所は、〇〇にて表記しています。

(司会)

お待たせいたしました。それでは、時間となりましたので八栄小学校の通学区域見直しに関する第3回地域説明会を開催いたします。

まず初めに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本日、皆様にご協力いただきたい点について、説明いたします。受付では利用者カードの記載及び消毒にご協力ありがとうございました。

本日、会場内では、常時マスク着用にご協力お願いします。換気のため、窓を開放していますことをご了承ください。

続いて、お席に事前にお配りしております資料の確認をいたします。

A4 4枚を左上で綴じたものをお手元に配布しております。まず、本日の次第、続いて2枚目からが、資料となります。資料につきましては、後ほど、正面のスクリーンでご覧いただくものを2画面を1枚にまとめたものとなります。ページ番号につきましては、お手元の資料については、上下それぞれの右上にページ番号を記してあります。説明の際は、そのページ番号でご案内いたします。

なお、本日の資料につきましては、船橋市ホームページにて公開いたします。また、本日の議事録につきましても、後日、船橋市ホームページにて公開いたします。皆様からのご質問やご意見につきましても議事録に記載いたしますことをご了承ください。

資料の確認については、以上です。

次第にも記載しておりますが、本日の会場につきましては、12時から他の団体様が使用される予定が入っておりますことから、皆様からご意見・ご質問をいただく時間を最大で11時半までとさせていただきます。こちらからの説

明を端的にわかりやすくできるよう努め、ご意見・ご質問の時間を取りたいと考えておりますので、ご了承ください。

続きまして、本日出席している船橋市教育委員会の職員の紹介いたします。

管理部長 森です。

(管理部長) おはようございます。森です。よろしくお願いします。

(司会) 学校教育部長 礒野です。

(学校教育部長) はい、おはようございます。よろしくお願いいたします。

(司会) 管理部教育総務課長 五十嵐です。

(教育総務課長) はい、五十嵐です。よろしくお願いします。

(司会) 学校教育部学務課長 野木です。

(学務課長) はい、よろしくお願いいたします。

(司会) 学校教育部保健体育課長 高橋です。

(保健体育課長) よろしくお願いいたします。

(司会) 児童・生徒防犯安全対策室長 山下です。

(安全対策室長) はい、よろしくお願いします。

(司会) 私は、学務課課長補佐の廣澤と申します。よろしくお願いいたします。

その他、学務課、教育総務課の職員です。

本題に入ります前に、管理部長の森より皆様にご挨拶させていただきます。

(管理部長)

はい、改めまして、おはようございます。管理部の部長をしております、森と申します。本日は、お忙しい中、また、お足元、非常に悪い中、参加いただきまして、ありがとうございます。

これまで、2回の地域説明会でお話しさせていただいておりますが、八栄小学校の現状からお話しさせていただきますと、児童数・学級数が増えてきておりまして、今後、学校施設の面において、普通教室に転用できる教室数、これが不足する見込みでございます。一方で、学校の敷地は狭隘なため、教室、校舎を増築することが非常に困難な状況でございます。

そのようなことから、教育委員会といたしましては、八栄小学校の通学区域の一部を見直しをして、施設にゆとりのある、隣接する市場小学校と夏見台小

学校に通っていただくことができないかと、ご提案させていただいているところでございます。

学区が変更になる地域の皆様につきましては、生活のパターンが変わってしまうこと、コミュニティが分かれてしまうこと、通学への負担など、本当に多くのご心配、ご迷惑をおかけすることになり、非常に申し訳なく感じておりますが、学区の変更先である夏見台小学校、市場小学校への通学、入学、その後の学校生活において安心して生活していただけますように、教育委員会・学校、一丸となって取り組んでまいりたいと考えております。

本日の地域説明会ではこれまでにいただいたご意見、ご質問について、改めて教育委員会内で検討してまいりました、その回答を説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上です。よろしくお願いいたします。

(司会)

では、本題に入ります。ここからは、手元に資料があることから、着座にて失礼いたします。

本日は、前回第2回の説明会の際に皆様からいただいたご意見等につきまして、検討させていただいた結果について一つ一つご説明させていただきますが、その前に八栄小学校の最新の状況について教育総務課長より、説明いたします。

(教育総務課長)

教育総務課 五十嵐でございます。よろしくお願いいたします。ここからは着座にて失礼いたします。

皆様のお手元の資料でございますが、右上のほうに、ページが振ってあると思います。お手元の資料2ページから5ページが推計の資料となっております。

この中で、黄色の帯で示した部分の数字、この部分が、令和4年5月1日現在の数字となっております。児童推計につきましては、黄色の帯の部分の数字以外は、これまでもご説明させていただいたものと変更はございませんので、八栄小学校についてのみでございますが、学級数と児童数について、最新の状況をご説明させていただきます。

それでは資料のほう、右上の数字、2ページをご覧ください。

これまでの説明会で、令和4年度の八栄小学校は、全学年、31学級になる見込みとお伝えしておりましたが、2年生が見込みより1学級減りまして、現状30学級で運営してございます。

しかしながら、これまでの宅地開発などによる転入の傾向を踏まえますと、このまま学区の変更を行わなければ、これまでにご説明してまいりましたとおり、令和5年度以降は、教室数が足りなくなってしまうことが見込まれております。

このような八栄小学校の状況を踏まえまして、教育委員会では学校敷地内で、校舎の増築も含めて、なんとかならないか検討を行ってまいりましたが、教室不足を解消できるほどの、規模の大きい校舎を造ることは困難であるという結論に達しております。また、学校が大規模化してしまうという点からも、学区の変更を行うという考えに現在至っているところでございます。

教育総務課からの説明は以上でございます。

(司会)

それでは、第2回地域説明会でいただいたご意見やご質問について、教育委員会にて検討させていただいた結果について、ご説明いたします。

質問は大きく分けて、学区に関すること、通学路・通学経路に関することに分け、順番に回答させていただきます。

まず、学区に関することについて、学務課長より回答いたします。その前に今までの繰り返しになりますが、学区変更案について簡単に概略を説明いたします。

(学務課長)

学務課長の野木と申します。よろしくお願いいたします。それでは、着座にてご説明させていただきます。

資料6ページをご覧ください。資料の地図上で色分けしている地域ごとに説明をいたします。

まず、ピンク色の地域、夏見7丁目は、全域を夏見台小学校の学区に変更予定です。

緑色の地域、夏見1丁目の一部と夏見5丁目の一部は、市場小学校の学区に変更予定です。

紫の地域、夏見3丁目、4丁目、6丁目全域は、八栄小学校と夏見台小学校を選んで入学していただく選択地域を設定しております。

これらの学区変更及び選択地域の設定は、令和5年4月から適用する予定です。

そうしますと、令和5年4月に入学するお子さまについては、今年の10月に教育委員会から入学指定校で就学時健診を受けていただくご案内を送付するのですが、その時点から変更後の学区にてご案内をすることとなります。

紫色の選択地域のご家庭には、9月に選択通知というご案内をお送りし、八栄小学校及び夏見台小学校のいずれの学校への入学を希望されているか調査をし、いただいた回答に沿った学校で就学時健診のご案内をお送りいたします。

続きまして7ページ、8ページをご覧ください。

ピンク色の地域の一部、及び、緑色の地域の約半分以上のエリアに斜線を引いた部分があります。こちらは、第2回地域説明会で提案した内容なのですが、通学指定校変更許可地域としました。これは、もともとの指定校である八栄小学校までの通学距離と、新たな通学指定校である夏見台小学校、及び市場小学校までの通学距離の差が大きい地域について、すでに居住している児童に限り通学指定校変更申請ができるものとしたものです。

この通学指定校変更許可地域については、選択地域ではありませんので、教育委員会から、選択できます、とお知らせをするものではございません。就学時健診の案内は夏見台小学校もしくは市場小学校で通知することになります。その通知を受け取られた際に、八栄小学校に通学指定校変更したい旨を申し出ていただくことになります。

以上が、学区変更案となります。

では、学区に関することへの回答に移らせていただきます。

まず8ページの内容になります。

まず一番多かったご意見で、夏見1丁目の一部分だけが指定校変更ができないということに納得ができない。1丁目も全域、八栄小学校への入学を選べるようにしてほしい、というものです。これに関しては大変申し訳ございませんが、現案どおりでお願いしたいと考えております。

理由として大きく2つございます。

まず、1つ目の理由としては、斜線ありの地区と斜線なしの地区の現時点での未就学児の人数の違いになります。

夏見1丁目の西側は、70から80世帯が居住しているマンションが複数ありまして、この地域には未就学児が、各学年20名から30名程度住んでいます。すでに未就学児が多く住んでいるこの地域については、指定校変更を認めることにより、対象の皆さん、20人余りが、八栄小学校への入学を希望された場合、結果的に教室不足が起こってしまいます。

一方、斜線の通学指定校変更許可地域については、現在のところすでに居住している児童数は比較的少ないのですが、宅地開発が進むことによってこれから児童数が増えると見込まれる地域です。

これから宅地開発が進むと思われる地域については、今現在居住している未就学児の人数であれば、八栄小学校の学級増につながるほどではないと見込まれています。しかし、この先、宅地開発により未就学児が増えると、学級増に影響してくることが懸念されるため、学区変更の対象地域としたものです。

続いて、2つ目の理由として、通学距離の違いです。

夏見1丁目の中で、13番と14番は、地図上で見ますと隣り合った地域ですが、実際は、川を挟んでいることから13番にお住まいの方が使用する道路と、14番の方が使用する道路は、違う道路となります。13番の方は、あおぞら動物病院の交差点を渡って、本町を通過する経路で、市場小学校までの距離を計測すると、八栄小学校までの通学距離に比べて同じくらいか、それより短い通学距離となります。14番の方は、あおぞら動物病院の交差点を通る経路より、地方卸売市場の周囲を通る経路のほうが、市場小学校までの通学距離が短いのですが、それでも八栄小学校までの通学距離に比べて長くなってしまいます。そのため、1丁目の13番と14番で指定校変更できるかできないかの境を設けたものでございます。

教育委員会としては、さまざまなご意見を検討した結果、八栄小学校の特別教室を転用してでもなんとか学校運営ができるギリギリの範囲ということで、指定校変更許可の条件を設定させていただいた次第です。対象地域をしばらく、すでに居住している児童に限らせていただいたということです。

どうかご理解をいただけるようお願いいたします。

また、通学指定校変更については、アンケートを取って、その結果で市場小に行きたい人が多ければ、通学指定校変更できる範囲を増やしてはどうか、と

いった意見もいただいております。これに関しては、現時点で未就学児の保護者にアンケートでご希望を確認したとしても、就学前に意向が変わることや、またアンケートの結果をお知らせすることにより、ご意向が変わることも考えられ、流動的な数字を基に受入れ計画を立てることは教室数等の制限もある中で困難であると考え、アンケート調査は現実的には難しいものと判断しました。

それから、斜線区域外の地域については、ほぼ市場小学校と通学距離の変わらない船橋小学校に通学できないか、という質問もございました。これについては、船橋小学校は、すでに普通教室に余裕がない学校として指定しており、今後も学区内に大規模マンションの開発等が予想されることから、受け入れは難しいと判断しております。

なお、今回の学区変更で同じ世帯でも上のお子さんが八栄小学校、下のお子さんが市場小学校という状況が起こりうるが、それは困る、というご意見もございました。このような場合は、兄弟姉妹関係を理由として指定校変更申請を行うことで、兄弟で違う学校という事態を避けることができますので、ご相談ください。

続いて、6 ページの内容になります。

八栄小学校が過大規模校であるという状況を知れば、紫の選択地域以外からも、市場小学校と夏見台小学校に通いたいという方もいるかもしれない。八栄小学校の学区すべてを選択地域としたらどうか、というご意見もいただきました。こちらについては、今回、選択地域になっていない、八栄小学校が入学指定校となる地域についても、八栄小学校が過大規模校であるということを理由に、指定校変更申請をすることにより、隣接する小学校に入学していただくことができます。ただし、通学指定校変更したい小学校が、普通教室数に余裕がある場合に限らせていただいております。令和4年度は、八栄小学校の学区から、市場小学校・夏見台小学校・高根小学校・飯山満南小学校への指定校変更申請ができるものとしており、実際、指定校変更し、八栄小学校以外の小学校へ入学された方もいらっしゃいます。選択地域との違いは、教育委員会から、選択できるということをお知らせするか、しないかという違いです。

この選択地域ではない地域の方についても、就学時健診のお知らせ等で、八栄小学校の状況をお伝えしたうえで、ご希望であれば入学する学校を変更することについて制度の周知を図りたいと考えております。

また、紫の部分の選択地域についての選択状況を踏まえて、指定校変更申請を考えたい、という要望がございました。本件につきましては、検討した結果、要望にお答えいたします。選択地域の選択状況を9月に調査し、10月に回答がまとまります。翌年入学するお子様には10月15日ごろに就学時健診のお知らせをお送りしますので、その際、選択地域の選択状況をお知らせできるよう、対応させていただきます。以上です。

(司会)

つづいて、通学路・通学経路に関することについて、保健体育課長及び学務課長より回答いたします。

(保健体育課長)

保健体育課の高橋と申します。まず市場小学校への通学路に関する質問についてご回答させていただきます。

あおぞら動物病院前の交差点の信号機について、歩者分離信号にできないか、そのようなご要望がございました。本件につきましては、市場小学校の校長先生からも先日、要望書が教育委員会に届きました。要望書の内容をもって、今後、教育委員会から今年度中に関係部署及び警察に相談、検討をお願いしてまいります。

また、信号から市場小学校までの経路について、川沿いを斜めに通るルートの方が安全なのではないか、そのようなご意見がありました。本件につきましては、以前はご指摘いただきました川沿いのルートを通学路としておりましたが、児童の登校時間帯に、太郎橋付近における自転車の通行量が多いこと、併せてかなりスピードにのった状態で自転車が通行することから、児童の安全確保のために学校の判断で現在のルートに変更したという経緯がございます。

市場小学校の通学路につきましては、次年度、通学路の交通安全プログラムによる点検を実施する予定でありますので、その際に学校等からいただくご意見も参考にさせていただきたいと考えております。

通学路に関しては以上でございます。

(学務課長)

つづきまして、9ページをご覧ください。

市場小学校への通学経路で、富士見橋より上流の海老川ジョギングロードと呼ばれている遊歩道についてですが、自然に近い状態での景観を活かした遊歩道であることから、何らかの工夫が必要であると考えております。今後も市役所内の他部署と協議しながら、景観を活かしつつも通学の安全を図れる対策を検討してまいります。

つぎに夏見台小学校への通学経路に関する質問についてご回答させていただきます。

夏見7丁目側のほうから、夏見台小学校までの経路について、医療センターまでの道路ではなく、八栄小学校方面に上ってから夏見台小学校に向かう経路を使用したい、とのご希望がございました。

どの道を通して通学するか、については、最終的に各ご家庭で判断いただいて構いません。

今回、学区を変更するにあたり、教育委員会としては学校側と協議の上、医療センター側の通学経路を提示させていただいております。現在も40人程度の児童がこのセブンイレブンを曲がる地点を通して通学しています。しかし、個別の事情もあると思われますので、最終的には各ご家庭の判断で通学経路を決めていただいかまいません。

10ページをご覧ください。

最後に、学区や通学路以外のご意見として、市場小学校や夏見台小学校がどんな小学校か知る機会を設けることで、保護者や子供同士の交流により不安が軽減されるのではないかと、というご意見をいただきました。私どもといたしましても、保護者の方々やお子様にも学校の様子を知っていただくことはとても大切なことだと考えておりますので、市場小学校と夏見台小学校の両校の学校見学会の機会を設けることとしました。

まず、市場小学校ですが、6月18日、土曜日に実施される授業参観にて、未就学児の保護者の方にご参観いただく時間帯を設けます。現在、詳細について市場小学校と相談中ですので、決まりましたら、次第の裏面にあります、学区変更に関するお知らせ、のページにてご案内いたします。そのほかでも、近隣の幼稚園・保育園を通じてご案内することを検討中です。

また、9月には市場小学校、夏見台小学校の両校で、学校見学会を開催したいと考えております。

その他にも、市場小学校、夏見台小学校の両校長先生から、学校のことで知りたいことや、ご心配なことがありましたら、事前に電話をいただければ、日程を調整して、学校の様子を見ていただいたり、説明をしたりする機会を設けますので、皆様にお伝えくださいと、お話をいただいております。

以上で、いただいたご意見、ご質問への回答となります。

お集まりいただいた皆様には、これですべてご納得いただけるとは思っておりませんが、教育委員会といたしましては、この説明会で皆様にいただくご意見を報告のうえ、船橋市学区審議会に諮問し、今後、進めていきたいと考えております。

よろしくお願いいたします。

(司会)

では、これからご質問いただくにあたり、感染症の感染拡大防止のために、マスクを着用のまま、こちらからお渡しするマイクをご使用いただくようお願いいたします。ご発言される方が変わる都度、マイクを消毒いたしますので、ご発言を終えられましたら、マイクを次の方に回さず、お近くにおります職員に返却くださいますようお願いいたします。

また、個人が特定できる内容以外は、本日いただいたご意見ご質問も、船橋市ホームページ等に掲載いたしますこと、ご了承ください。

では、ご質問等ございましたら、挙手をお願いいたします。こちらから、指名させていただきます。

(質問者 1 人目)

おはようございます。アンケートについて先ほどお話があったんですけれども、アンケートを取ったところで回答に信ぴょう性がないという判断だと思うんですけれども、その面でいうと、今年度の 1 クラスの見込みが異なってしまったというの、結局たればを言ったら、少なくなるということも考えられると思います。じゃあどうやってアンケートを取ったらいいのかなと、今、先ほどお話を聞いて考えたんですけれども、学校見学会をする際に、アンケートを取るというのはどうかなと思って、ご提案させていただきます。

その理由は、説明会に来る方は、何らかの市の説明会に来る方と同じように、関心があって来られているので、ここの意見の信ぴょう性が低いというのはあ

まり考えられないかなと考えています。

アンケートを取るというのを、取ってから、この数字には意味がない、というのは納得できるんですけども、そういった実際にやった上でどうだったかというのを、判断していただきたいと思います。

あともう一つなんですけれども、通学路の経路について、市場小学校へのあおぞら動物病院の交差点は本当に歩行者の青の信号が短いです。私も子供とよく歩くんですけども、やっぱり子供が大きくなっても、まだ、青になってから渡り切る前に青がチカチカして結局、その間に車が来るので、非常に危ないです。それが、小学校中学年とか高学年だったら別に問題ないのかもしれないですけども、新1年生って、もう、幼稚園児とほとんど変わらず、しかも、今まで子供たちが誰も渡っていない信号になりますので、ほかの県外の車とかも多く通っていて非常に、危ないと思っています。万が一事故が起きたときに、その交差点がっていうことを、将来ニュースで見たくない。あと、そこで、同じように、市場小学校の前の道路の横断歩道はどうなんだろうって見てみたんですけども、この、海老川沿いのほうの、今、通学路としてはやめますって言っているところなんですけれども、こちらのほうが信号の青の時間は長いです。それで、ほかにも、やっぱり、ジョギングしている人とか、渡っている人が多いので、車のほうも警戒したりするってのもありますし、市場の交通誘導の人も斜め前で見られるので、そういった面で、人が渡るっていうのを注意しているコースになりますので、通学路のコースとしては、海老川沿いも、やっぱり検討していただきたいと思います。以上です。

(学務課長)

ご意見ありがとうございました。

まず、アンケートの件につきましてなんですけれども、確かにおっしゃるとおり、アンケートで意向を確認するっていうのはとても大事なことだと思うんですが、やはり、その都度その都度、今年度にとって、また来年度意向をとるという形になってしまいますと、その都度、通学指定校の許可地域が、どうしても流動的になってしまう部分もございますので、その点について、我々としてはなかなか難しいかなというふうに判断しております。

また、あの、先ほどお話された市場小学校の件の信号というのは、すいません、どこの信号でございますか。あおぞら動物病院の所の信号ですか？

(質問者 1 人目)

はい、あと、もう一つが、海老川の橋の所の。

(学務課長)

富士見橋の所でございますか。

(質問者 1 人目)

はい、そうです。

(学務課長)

富士見橋の所は、子供たちは渡らずに、そこを左に曲がって、ジョナサンとか吉野家があると思うんですが、そちらのほうを通して、今、経路としております。今年度も、複数名の 1 年生が入学されまして、当初はいろんな経路を考えたいんですけども、学校と相談して、ジョナサンの前にマンションが建っている部分がありまして、そこから、市場小学校に通っているお子様がいらっしゃるということで、富士見橋をそのまま渡らずに左に曲がってジョナサンの前を通して、マンションのお子さんたちが出てくる所で合流して、信号を渡って、市場小学校へ通っている、という形になりますので、あそこでは信号を渡りませんので、そのまま、渡らずにまっすぐ行くという形になります。

(保健体育課長)

青信号の時間が短いということですので、今回、市場小学校の校長先生のほうから、歩車分離式にできないかということで案をいただいているんですけども、その際に、多少、青になっている時間について調整ができないかと。この点につきましても、関係部署と相談してまいりたいと考えております。

(質問者 2 人目)

本日はありがとうございます。わたくしは、ウェルシア付近に住んでいるんですが、通学路についてまず、先ほど回答いただいているんですが、富士見橋の所をまっすぐ行って、海老川沿いについてというのは、すでに要望を出しているんですけども、これ市議会だよりとかにも載ってはいたんですけども、検討しますということであつたんですが、本日その件について触れられていないのと、それ

から、検討しますというのが、どれくらいの本気度なのかっていうのを伺いたくなっていうのがありまして。

先ほど動物病院の所から斜めに入ってくる所で、富士見橋で自転車とぶつかる可能性があるというお話はわかるんですが、まっすぐ来るほうは、ようは、対岸のほうを子供を歩かせれば、自転車とぶつかる恐れはないので、そちらを検討していただきたいっていうのと、先ほどの左に曲がる所についても、もう一つ先の交差点、AOKIのある所ですね。あそこって右左折がすごいあるのと、それと、地元の人が通らない道路ですね。なので、どちらかという、パールプラザのあった、富士見橋を渡らずに行ったほうが親としては絶対安全だと思っています。それは、通勤の方がかなりたくさん渡られるので、一緒に轢かれるっていうことは、ないと思うっていうのと、あと、緊急車両がよく通りますが、まず、大人の方が一緒に渡るのが多ければ、誰かが声をかけてくれたりっていうこともあると思うので、そこを渡らせたほうが私は安全だと思っています。

あともう一つは、市場小学校の人数についてなんですけれども、たぶん、JRの建て替えが、計画どうなっているのかわからないんですけれども、取り壊しが始まったと思うんですね。これから先数年、おそらく、工事とかも始まると思うんですけれども、その人数って、再開発とか全く計画がない状態の人数になっているんでしょうか、というのと、それから、工事作業が市場の向こう側で始まるっていうのになると、危険もその分あがるのであれば、今言った通り、市場沿いをずっと通らせていただきたいというのがあります。

それで、市場の開発について、市として把握してるのかどうかっていうのを伺いたい。

(学務課長)

ありがとうございます。市場小学校の、富士見橋のところの横断歩道を渡って、市場の中を通るっていう経路ですね。今年度も実はあそこの経路を通りたいという保護者の方がいらっしまして、その方は、もう、お父さんと一緒に通学するので、そこを通って行きますということで、学校と当初お話しをされていたんですね。入学前に学校といろいろ相談しまして、その状況を、保護者の方が見られたと思うんですけれども、これでここを一緒に通るのも一つなんですけれども、富士見橋を渡ってそのまま行くと、マンションから出てくるお子様が、何人かいらっしやるので、そこに合流できるのであれば、そちらを選択しますと

ということで、市場場内を通らない方法を選択したと話で聞いております。

ただ、市場場内を通ってはいけないということは、教育委員会としては申し上げられないところもありまして、最終的に、経路につきましては、保護者の判断で決めていただいてかまわないんですけれども、こちらのほうとしては、できるだけ、自転車にぶつかる可能性とかを考えまして、場内ではなくて、ジョナサンの前を通して通る方法を提案させていただいているところです。

(質問者 2 人目)

ということであれば、判断で海老川沿いを通らすことも可能っていうことですかね。うちの場合、お兄ちゃんの転校を兼ねてっていうのがありまして、5年生になる子と、1年生になる子なので、お兄ちゃんのほうは、正直、毎日、習い事で1人で通ってる所なので、親としては、まったく問題ないと思っています。ちょっと下の子ひとりだったらもちろんちょっとあぶないかなって気はしますが、お兄ちゃんと一緒なので、そこは問題ないと思うんですけど、それを、個人の判断でオッケーにして大丈夫っていうことですか。

(学務課長)

一応、学校と相談していただいて、我々が朝、見に行ったりもして、放課後なんかも見に行って、状況を見ながら判断をさせていただいているんですが、もちろん、大人の方が自転車に乗ってきて、子供が歩いていけば、よけてくれるとは思いますが、万が一のことを考えまして、やはりあの、接触の可能性、ちょうど、分かれていない部分がありまして、そこを通すのはどうなのかな、ということと、また対岸が少し通れる道があると思うんですが、あそこはちょっと細くなっております、途中に少し、アップダウンがあって、登った所も、子供たちは好奇心旺盛なので、ちょっと怖い部分がありますので、できるだけ、安全な方法を相談させていただいております。

入学前に学校の校長先生と相談していただいて、最終的には保護者の判断になるということになると思います。

(質問者 2 人目)

となると富士見橋の交差点を左折するのも、どこの信号で渡りなさいって判断も親の判断で学校と相談してっていう感じでいいってことですか。

(学務課長)

そうですね、最終的な判断は保護者になるんですが、学校もいろんな状況を把握していると思います。また、いろんなところから、子供たちの通学経路も、たくさん把握しておりますので、ここだそこで合流できますよとか、いろいろアドバイスがありますので、そこで相談しながら決めていただけると、一番いいかなと思っております。

(質問者2人目)

わかりました、ありがとうございます。

(教育総務課長)

市場小学校の推計の話について、教育総務課のほうからご説明させていただきます。

お手元の資料、4ページに書かれている市場小学校の令和5年度以降の数字、こちらにつきましては、J Rの開発等、こちらの人数につきましては、こちらには入っておりません。今の状況なんですけれども、教育委員会といたしましても、都市計画部のほうでいろいろやっていたいいるんですけれども、情報を取るようにしているんですが、まだ明確な計画戸数であるとか、実際いつからどのような工事がはじまって、いつ、どのような建物ができて、どのくらいの規模のものができるかという情報までは今はまだいただいていない状況になります。

従いまして、4ページのものは、現状このままいったらこの数字になりますよ、5ページ目のほうにつきましては、私どもの学区の変更案を受け入れていただいた場合にはこのような数字になりますよ、というものになります。

市場小学校は、つい数年前までは、新船橋の森のシティのマンションのお子様をお受けしていた経緯がございます。

その前は、船橋小学校が、耐震化ができないということで、一時建て替えをしたんですけれども、その時に市場小学校に、船橋小学校の子と一緒に来ていた時期もございます。

そういったこともございまして、教室の方を、普通教室を大きく改修して、規模を持たせております。

使用できる教室につきましても、24教室ということで、市場小学校の横に書かせていただいているんですけれども、学校の規模といたしましても、そこそこ

お子さんを受け入れる規模のものは用意しております。

仮に、たればの話になってしまうんですけれども、計画戸数等がわからない中で、例えば、仮に森のシティのような規模感のマンションが仮にできたとした場合、敷地面積からしまして、森のシティよりは小さい面積ですので、はっきりしたことは言えませんが、八栄小学校のように大きく溢れてしまうというようなことは、そこまでは、未確定なんですけれども、想定していないのかなと。

また、これまでの経緯なんですけれども、マンションが建ってから、5年後、6年後くらいが小学生のピークを迎えるということになりますので、状況の違い、販売価格帯であるとか、入ってくる世帯によっても違うんですけれども、森のシティさんのような過去の例を見ますと、だいたいそのくらいがピークになってきます。まだまだ先の話なんですけれども、うちのほうといたしましては、面積であるとか、学校規模感だとかの話で、八栄小学校のようなことになることまでは想定していないということです。以上です。

(質問者3人目)

今日は説明会ありがとうございます。やはり皆さんから通学路についての不安が一番大きなところ、八栄小学校にいったら通らなかった大きな道を通る。それを、今回、学校の教室の状況で、市側からお願いされている状況だと思います。で、それをどうしても呑まなければいけなくて、もし、そうなるのであれば、やはり、市側が、本来通らなくて、起こらなかったはずの事故を絶対に防いでほしい、というところに、みなさん、あると思います。

で、信号の時間や、分離方法、これももちろんあると思うんですが、最後はやはり人がそこに立って、旗を持って立つ。その、物理的なこと、それが一番効果があると思うんですよね。で、やはりそこに、地域の力でPTAでやる、地域のお年寄りに力を貸していただく、それにもやはり限界がありますし、各小学校、ボランティアでやっているのが実情だと思います。それを、主要道を渡る所、ポイントポイントだけでもかまわないので、船橋市の生きがい事業団を活用したり、すべて外の警備会社に発注するのではなく、短時間だと思いますので、朝の2時間、また、帰りの時間、信号に、業者というか市側が手配していただいた方に立っていただいて、安全確保に努めてもらう、そういうことを、していただけないかと思いました。

やはり、高学年になれば、確かに、自分の判断とか、安全とか、車からも、体が大きくなって発見しやすいというのもあると思うんですが、やはり入ったばかりの1・2年生だと、突如動き出すこともあると思うので、やはりそこに人が立っていただければ、私達もより安心して学区変更できるかなと思いました。よろしくお願いします。

(保健体育課長)

ありがとうございます。

新たに今まで通学経路として想定していなかった部分を通学経路としてご利用していただくというところに関しましては、学校側とも相談いたしますし、あと、教育委員会といたしましても、年度初めに、警察の方が、あちこちの通学路に出ていただいて、交通指導をしていただいていると思います。そのようなものを活用したりですとか、なるべく、小さなお子様が大きな道路を渡るときに、事故が起こらないような工夫というものは、今後、実施させていただきたいと考えております。

もちろん、地域のボランティアを活用した活動とかもあると思うので、そういったものには限界があると思います。そのようなところにつきましても、学校が、また、教育委員会としてもできる方法を考えて、おっしゃられるような事故が起きないような方策を、立てていきたいと考えています。以上です。

(質問者4人目)

本日はありがとうございます。2点あるんですけども、まず1点目なんですけれど、学校説明会は、八栄小学校に関しては行わないんでしょうか。いい学校だから通って欲しいという意味をすごい感じたんですけども、市場小学校と夏見台小学校ですね。ただ、今、八栄小学校の教室が少ないとのことなので、それを見て変えたいという方もいらっしゃると思うんですね。私個人としては、ポピュラーな小学校、小さい小学校に行ってほしいと思っているので八栄小学校を希望してるんですけど、なかなか、こういうご時世ですし、密になっている小学校に行かせたくないという保護者様もいらっしゃると思うので、ぜひ八栄小学校の学校見学会も開催したらどうかなと思います。

もう1点なんですけれども、私、前回アンケートをしたらどうかとかと提案したもののなんですけれども、やはりアンケートはやったほうがいいんじゃないか

なと思います。

もちろん、流動性もありますし、手間もかかるかと思うんですけども、私、斜線部分に住んでますので、私個人としては子供を八栄小学校に行かすことができるんですけど、斜線に住んでる人の中には、もう引っ越しをして、もう八栄小学校行けません、先ほどのお母さまみたいに、市場小学校に行かせます、って方も結構いらっしゃるので、西側のほうですね、その中にも結構たくさん、八栄小学校にするか、市場小学校へ行きたいとか、そういう方もいらっしゃると思うので、アンケートをして、一度現状を把握するのはすごく大事だと思うんです。流動性はあるかと思うんですけど、ぜひ検討お願いします。

(学務課長)

ありがとうございます。

八栄小学校の説明会という話があったんですけども、まず1点目なんですけれども、八栄小学校の説明会につきましては、おそらく、就学時健診のときに、子供たちが健診っていうときに、子供達が回っているときに、保護者の方に説明会という形で、持ち物とか学校の特色とかをお話しする機会がありますので、それをもちまして、説明会という形で、考えればどうかなと思っております。

それから、2点目のアンケートについては、ありがとうございます。確かに、おっしゃる通り、把握をするということはとても大事なことであります。私どもとしては、やはりどうしても流動的なもので判断して、また、そのあと地域の皆様、学区の方々に、それで二転三転、ということも心配する部分もありますので、それで今回、ちょっと厳しいかなと思っております。

その点については、もう一度検討していきたいとは思っているんですが、どうしても、流動的な部分をもって、これ、公開することになったりもすると思うんですが、そのあとで、やっぱり変わってしまったとか、このあとの方にどうしても迷惑をかけてしまうという部分もとても懸念しておりますので、その点でどうしても、厳しいかなというのを考えているところです。その点についてはご理解いただきたいと思います。すいません、よろしくお願いします。

(質問者5人目)

おはようございます、本日は説明会ありがとうございます。

前の方とほとんど同じ質問だったので、わたくし自身が、来年、新1年生にな

る子供の保護者として、こちらの区画表でいうと、白い、通常であれば八栄小学校に入学するんですけれども、現在の八栄小学校の過剰な児童数の具合を見て、今、八栄小学校と市場小学校どちらにしようか悩んでいるところでもあります。

なので、今、八栄小学校の見学会、10月くらいとおっしゃっていたんですけど、悩んでいる状況からすると、もう少し前倒しをしていただいて、遅くとも夏くらいにはしていただいて、こちらのほうで悩む時間、検討する時間を頂戴したいなと思います。どうぞよろしくお願いします。

(学務課長)

ありがとうございます。

夏までとのお話があったんですが、9月に市場小学校をみていただいて、そのあと、八栄小学校にいていただいて、そのあと、説明を聞いていただいて、そのあと変更することも可能ということですので、就学児健診受けてからでも、学校の変更は、申請が可能な区域であればできますので、そういう形をとらせていただければと。

八栄小学校が、今お話しした通り、子供たちのほうが、かなり過大規模となっておりますので、授業参観とか何かで外部を入れるというのも、おそらく、保護者何名とか制限をかけたり、授業参観でも時間ごとにわけて、ほかの学校ももちろんやっているんですけれども、例えば、1時間目は半分は出席番号の上から4分の1の保護者の方とか、やってますので、なかなか、そういう部分で、ほかの方々に来てもらう、説明会を取る、というのは、なかなか難しい部分があるんですけれども、そのご意見は、お伺いしておきたいと思いますので、ご了承お願いします。

(質問者6人目)

よろしくお願いします。

今現在夏見6丁目に住んでいます。家の目の前が夏見台小学校と八栄小学校の、学区のちょうど別れになっている道があります。今現在小学4年生のお兄ちゃんが、八栄小学校に通っています。私が、夏見台小学校を卒業しておりまして、子供を夏見台小学校に入れたかったんです。それで、4年前ですね、市役所まで相談にいきまして、子供を夏見台小学校に入れたいのでどうしたらいいですかということでお話させていただいたんですが、そのときは、ちょうど目の前が学

区の分かれなので、検討できないかということでご相談したんですが、私は仕事もしてないですし、通学路の距離の事もどちらかというと八栄のほうが近いですと言われてしまって、もう絶対にダメですと言われてしまったんですね。

それは4年前の話で、今、こういう状況になってまして、来年、新1年生で妹が小学生になるんですけれども、その子は夏見台小学校に入りたいなと思っていてですね。そうなりますと、上のお兄ちゃんが八栄小学校で、下の子が夏見台小学校ということで、親として負担があるかなと思うんですが、お兄ちゃんのほうを夏見台小学校に転校させるということは可能ですか。

(学務課長)

お兄ちゃんを、兄弟関係で指定校変更する、ということであれば可能です。

(質問者6人目)

下の子は可能というのは知っていたんですが、上の子も可能、ということなんですね。

お兄ちゃんもう高学年になるので、どうしても交友関係とかもあって、一応ちょっと聞いたんですが、転校はやだなあみたいな話だったので、難しいとは思ってはいるんです。

ただ、八栄小学校の現状として、人数がすごく多くて、先ほど活気があっていい、という話もあって、とてもいいと思うんですけれども、休み時間に自由に外に遊びに出られないというのがありまして、曜日で決められているというのがあって、夏見台小学校ですとそういうのはないですし、校庭も広いですし、やっぱり開放感があるし、私としては男の子の親として、そちらのほうに入りたいなっているのがあったんですけど、叶わなかったのが、ちょっと残念だなっているのがあって、4年前に、過去の話なんですけれども、もうちょっと、融通じゃないんですけれども、もう少しお話を聞いてほしかったなというのがありますので、今後こういうこともあると思いますので、ご検討いただければと思います。ありがとうございました。

(学務課長)

貴重なご意見ありがとうございました。

どうしても、学区というもので、変更の、今回もそうなんですが、条件があり

まして、そこが曖昧になってしまうと、学区がなし崩しになってしまう。で、やっぱり、過大規模校とか、もしくは、人数が本当に減ってしまう学校とかもありますので……

(質問者 6 人目)

もう 1 点いいですか、ごめんなさい。ありがとうございます。

過大規模校なんですけど、お兄ちゃんの場合は指定じゃなかったんです。何年か前に入った子話を聞いて、変更できるっていうのを聞いたんですね。それで、話を聞きに行ったんです。そしたら、今年は八栄は過大規模校じゃないから無理ですって言われたんです。

そしたら、翌年だか、2 年後か、定かじゃないんですけど、子供は、過大規模校なので、指定変更できるって聞いたんですね、それが、私としてはすごい不公平って、感じて。なんで私のときはだめで、前はよくて後もよくてって、ちょっとそれはすごく不公平だなと思ったので、今こうやって学区変更ということで、選べるということですので、みなさんご検討することができるので、とてもいいと思うんですが、そういう経緯もありましたので、ご報告させていただきました。

(学務課長)

ありがとうございます。

毎年こういうもの、入学のときとか転入の方には配っているんですが、過大規模校というのは毎年毎年状況が変わって、教室の余裕の状況で、毎年学校が変更するんですね。だから例えば、先ほども申し上げたように、マンションができた段階で、かなりの人数が入って、入学のお子さんが増えると、以前までは大丈夫だったところが、翌年は急に変わってしまう、ということもありまして、開発がいろんな所でおきておりますので大変、なかなか説明してご納得いただくのは難しいと思うんですが、その都度その都度、毎年、理解しながらやっておりますので、大変申し訳ないんですけど、本当、すいませんでした。

それで、今、お兄ちゃんを、夏見台小学校に、八栄小学校から夏見台小学校へ行かせたいという話は……

(質問者 6 人目)

まあ、ないとは思いますが、

(学務課長)

もし、バラバラになった場合は、運動会の日程を、学校同士で調整してもらうとか、そういうことは教育委員会からもお願いして……

(質問者 6 人目)

そうなんですね。八栄小学校と夏見台小学校って運動会の日程が同じことがあって、そこがちょっと不安で、お兄ちゃんが高学年になって、そんなに出番もないですし、授業参観も、今はコロナで分散されているので、何とか調整はつきそうなんですけど、運動会だけは被ってしまうと、ちょっと難しいので、検討していただきたいですね。

あと、今後あるかわからないですけど、バザーとか、催しものがあったときに、子供はあっちとこっちに行ってしまうと、ちょっとあれになっちゃうので、できれば。

兄弟間で違う学校に行くことも増えてくと思うので、そうなったときの配慮も検討していただきたいと思います。よろしくお願いします。

(学務課長)

教育委員会の一存ではなかなか難しいんですが、学校に協力いただきまして、すべては難しいと思うんですが、大きな行事については、調整をしてもらうようにお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

(質問者 7 人目)

スクールガードやってます、〇〇と申します。

3 ページの八栄小学校の推移というのがありますけれど、それを見てみますと、今でもいっぱいなのに、今後いっぱいになって、理想的な八栄小学校の学級数と児童数は、どのくらいの数字を見て、やってるんですか。これおそらく 2、3 年たつと、同じような問題が、夏見台小学校で理論上でてくるような気も。

それと、先ほどからいろいろご説明をいただいておりますけれど、教室が足りない、人数が多いっていう理論が大半を占めきっています。

スクールガードをやっている私としては、ちょうど、〇〇さんの近くでやりますので、市場小学校行く子と、八栄小学校行く子、どうやって区別したらいいのか。

それと、本当に市場小学校の状態が、今、通学路を確保してくれるのか、そういうのがものすごく不安ですね。

来年、再来年になると、十人以下だと思っうんですね、十人以下のお子さんが、朝7時半、夕方2時か3時ぐらいに帰ってくる。おそらく人数は1人か2人か、こんな危険な状況でいいのか。

子供の安心安全が、やっぱり子供達が、やっぱり、上の子と一緒に学校行く、それが通学の楽しみだと思っうんですね、お姉ちゃんと、手をつないでいく、そういう楽しみが、続かないと思っうんですね

夏見の1丁目の所の斜線が引いてない所は、あなたは八栄小学校、私は市場小学校だっいて、同じマンションでいても、その中1年生が1人、市場小学校へ行く、そんな危険なことはね、想定の中に入らないと思っう。

人数より、子供の安心安全をどう考えて、この通学路を考えられたのか、非常に危惧しています。何か起こったときに、誰が責任取るのかというようなことをね。あと、納得して、通学してもらいたいと思っいます。

(教育総務課長)

あの、ご質問の1点目なんですけれども、八栄小学校の規模のお話がございました。実際、八栄小学校は今、30学級で、これから増えていくという中で、理想の規模はどうなんだ、というお話がございましたので、その点につきまして、こちらの教育総務課のほうからご説明したいと思っいます。

まず学校の規模なんですけれども、標準的な規模といたしましては、12学級から24学級、これが、一般的に、学校運営していく上で、子供達の社会性を育んだりだとか、あと学校行事でも、大きな支障をきたさないであるとか、そういう中で、12から24というのが、適正規模、というふうに見ております。

しかしながら、学校というのは、学校を作ったときに、いろんな、地域性であるだとか、社会的な背景がございまして、必ずしも、地域の真ん中に学校があるというわけではなく、やはり、わたくしが言うのもなんなんですけれども、学区の縁(へり)のほうに学校があったりだとか、あとは、急激に開発が起こったりだとか、なかなか、理想通りにはいかないというのが実情でございします。

それで、できるだけ、皆様方、地域に長らくお住まいの方がいらっしゃるんで、地域の方々のご負担ないように、ということで、お受けしていく、お受けしてきた、という経緯がございしますんで、学区によっては、30学級超えてしま

う学校が出てしまったりですとか、もしくは、学区は広いんですけれども、昔開発があったんですけども、その後、開発が止まってしまって、子供が減ってきている学校、そういう差が生じている状況です。

八栄小学校につきましては、今後どうなるかという話なんですけれども、確かに今30学級で、来年31ということで、パソコンルームがありますので、そういった部屋を活用したりですとか、あとはもう、32、33となってしまうと、特別教室を一時的に転用するような、図工室だとか、家庭科室であるとか、転用するような形になるんですけれども、実際、私どもの推計といたしましては、お子様が生まれてくれば、0歳児、1歳児の子をベースにして、その子たちが数年後には小学校に上がるわけですから、人数の算定ができて、今、令和9年までしか、実際お子さん生まれていませんので、そこまでの数字しか今出すことができません。

実際、今、夏見5丁目6丁目あたりの開発がいつまで続くかと言うのもあるんですけれども、この推計というのは、今の開発がずっと続いていくことを想定して、社会増を見てるわけなんですけれども、社会増を補正してこの数字になっておりますので、見込みといたしましては、私ども、今現在といたしましては、33をピークといたしまして、その後は、この数字から若干落ちてくるんじゃないのかな、というふうに見ている状況でございます。

八栄小学校の規模につきましては以上になります。

(保健体育課長)

通学経路に関してのことなんですけれども、先ほどのご質問でお答えしました、次年度、安全プログラムにのっとって点検活動を行うというふうにお話したと思うんですが、今年度、この学区変更を受けまして、市場小学校の通学路の点検を計画しているところでございます。

そこで話題にあげさせていただいて、安全性について、課題がある、という点については、検討させていただきたいと考えております。

(質問者8人目)

今回の件とは別件になるんですけれど、船橋中学校の規模については、今回の八栄もそうですけど、スタートが遅いんじゃないかっていう気がしていて、このままいくと、船中もおそらくすごい人数になっていくんじゃないかなっていう

のは、みんな、地域の人には思っていると思うんですけど、その辺は市としてどう考えてらっしゃるのかなっていうのと、計画とかがあるのであれば、早い段階で、市民に知らせていただきたいなっていうのがあります。

うちも小学校4年生の男の子がいて、中学校ぎゅうぎゅうだよっていうのは聞いていますので、もちろん受験も含めたところで考えてはいますが、やはり、地域の中学校に、環境で、行くのはちょっといやだよっていうので、選択を住民にさせるっていう状態は、あまりいいことではないと思うので、そこらへんを、考えていただきたいなというふうに思います。

(教育総務課長)

ありがとうございます。

船橋中学校、確かに大きな学校でございます。

やはり船橋は地域性がございまして、やはり、皆様がお住まいの地域であるとか、西部地域というのが、どうしても開発も多いですし、駅も近いということで、人口が集中していて、どうしても、周辺の学校というのは、船橋中学校をはじめ、海神中学校もそうですし、行田中学校もそうですし、やはりどうしても規模が大きくなってしまっている状況です。

私どもといたしましても、決してこれがいいということは、決して思っていない状況です。

本来であれば、学校を作ればいいんじゃないかって話もあるんですけども、学校を作るには、当然、費用も掛かるんですけども、そもそも、広大な土地がないと、中学校って大体2万5千平米くらいないと、野球場2つ以上ですね、それくらいないとなかなか厳しいというのがあり、あとはゆくゆく、後々のことも考えていかなければいけないので、なかなか舵がきれない状況になります。

ただ、状況は、こちらとしても、理解しておりますので、いろいろ知恵を絞って、考えていきたいと思えます。

すいません、うまく回答できないんですけども、状況は理解しております。ありがとうございます。

(司会)

ありがとうございます。引き続きいかがでしょうか。……

たくさんのご意見ご質問、ありがとうございました。いったんこの場でご意見、

ご質問、終了させていただきますが、この後は、次第の裏面でご案内しております、ホームページのお問い合わせフォームから、ご意見をいただけたらと思います。

では最後に、学校教育部長よりご挨拶させていただきます。

(学校教育部長)

改めまして、学校教育部長の磯野でございます。

本日はお忙しい中ですね、またかなり朝、雨が降っている中で、来ていただきまして、本当にありがとうございました。

また、様々なですね、ご意見、いろんな立場から、そして、いろんな角度から、ご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

地域説明会、今回で3回目ということでございます。教育委員会といたしましては、丁寧な説明を心掛けましたが、ご納得いただけない部分も、あるかと思えます。しかし、地域説明会は最後ということになりますので、現在の、そして数年後の八栄小学校の現状をご理解いただき、ご協力いただければありがたいというふうに思っております。

2月20日の第2回の説明会におきまして、現在八栄小学校にお子さんが通われている保護者の方からご意見をいただきましたとおり、先ほどお母さまからもご意見いただきましたが、現状、業間休みに校庭で遊べる曜日が、決まっています毎日遊べない状況がございます。また、八栄小学校の学びの場として過大すぎるということをもっと言うべきではないかという意見もいただいたところでございます。

学校の適正規模に関しましては、多くのデータを集積した中で、現在の学校規模の適正が示されております。船橋市では様々な規模の学校がございますが、12から24学級を標準規模と定めております。25学級を超えると大規模校、31学級を超えると過大規模校ということで、大きいのが故の課題がございます。施設面での課題、子供の教育活動にかかわる課題、教職員の連携等による課題などが考えられます。

一方、小規模な学校におきましては、少人数教育が推進される中で、児童生徒一人一人の活躍する場面は多くなりますが、コミュニケーション能力が養いにくくなるなどの課題も考えられるところでございます。

教育委員会といたしましては、それぞれの学校の条件の中で教育活動が円滑

に進められるよう校長先生と連携して進めているところでございます。

今回の説明会に向けてですね、市場小学校、夏見台小学校の校長先生から、お話を伺ってきましたので、少しお時間いただいて、お話しさせていただければと思います。

まず、市場小学校の校長先生からは、市場小学校の現在の教育活動の特徴といたしまして、児童会により縦割り活動を積極的に行い、休み時間や学習の交流活動により積極的に他学年とかかわりを持った教育活動を推進している。2つ目としては、水曜日は掃除を無しにして昼休みを長くとして外で遊べるようにしている。3つ目として、現在はコロナ禍で行われておりませんが、コロナ禍がまた治まれば、中国の西安市との交流を行っている学校でもございます。3年間の中でこちらから西安に行く機会、また、西安の子供達が来る機会、そして、作品を交流する機会などがあります。

また、夏見台小学校の校長先生からは、学校として、図書館教育の充実を、非常にこう、重視してやっていると。特に、読み聞かせというものについては、力を入れて活動している。夏見台小学校には、特別支援学級がございます。今の、インクルーシブ教育ということが、いろいろ言われている中ですが、その特別支援学級と普通学級の交流を図り、多様性を認め合う教育を行っている。そして、自然豊かな環境を学習に活用して、ザリガニ取りなどを行ったり、ということもやっていると、というふうに聞いております。

また、実際に教育活動とは関係ございませんが、放課後ルームの状況としまして、八栄小学校は待機のお子さんが2桁、でているということを聞いておりますが、市場小学校と夏見台小学校の放課後ルームの待機のお子さんはいらっしゃらないと、いうふうなことも聞いておるところでございます。

今回の学区変更につきましては、地域の皆様全員の方にご納得していただくことは本当に難しいということは重々承知の上ではございますが、総合的に検討した結果、学区変更案を提案させていただきました。ご理解を賜るようよろしくお願いいたします。

また、最後になりますが、今後、ご入学までにいろいろ不安な点等あると思いますので、何かございましたら、教育委員会に連絡をいただければ、対応させていただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。私からは以上です。今日はありがとうございました。

(司会)

本日は、お忙しい中、ご参加いただき、誠にありがとうございました。

いただいたご意見は、6月下旬に開催予定の船橋市学区審議会にて報告いたします。皆様のご意見をふまえて、学区審議会にて学区変更案を審議することとなります。後日、学区審議会の内容は、議事録等も、船橋市ホームページにて公開いたします。本日の次第の裏面に、学区審議会についてのホームページの二次元コードも載せておりますので、ご参考にしてください。本当にありがとうございました。お気をつけてお帰りください。